

Ⅱ. 平成25年度 特別養護老人ホーム 芦風荘 事業計画案

1. 利用定員 100人

2. 基本方針

法人理念を念頭に、地域福祉の拠点となるべく、施設の有する機能をフルに活用し、地域社会に貢献します。また、芦風荘に入所されても『自分らしく生き生きと』自立した日常生活が出来るように支援し、人格尊重・プライバシー保護を重点に安全で健康的な生活環境を提供してまいります。

本年度は、特に10人1ユニットでのユニットケアの特性を活かし、入居者同士が共に交流し、入居者同士が協働で自立した生活習慣を継続できるよう支援してまいります。

3. 基本計画

1) 入居者様に“ありがとう”が言える環境作り

『馴染みの関係を深め、入居者様の役割づくりを通じて自尊心をもった自立した日常生活が送れるように支援します。』

2) 集団的・流れ作業的介護との決別

『入居者様、一人ひとりによって生活リズムは異なります。24時間シートの活用により、それぞれの方の自宅生活の延長という、ユニットケアの理想を追求します。今年度は、モデルユニットづくりに取り組みます。』

3) 重大介護事故の撲滅

『ヒヤリハット事例の分析による事故防止対策の強化により、介護事故の減少を図ります。今年度は、重大介護事故“ゼロ”を目標に取り組みます。』

4) 職員研修の充実

『個人別の研修計画（内部集合研修・外部研修）を作成し、職員ごとに資質向上を図ります。今年度は、最新のユニットケア研修に重点をおき、職員のやりがいの創出を図ります。』

5) 看取り介護に向けた取り組み

『特別養護老人ホームとして、終の棲家としての役割が果たせるように、医療提供体制の充実を図るとともに、芦風荘としての看取り介護体制を整備します。』

Ⅲ. 平成25年度 ショートステイ 芦風荘 事業計画案

(短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業)

1. 利用定員 20人

2. 基本方針

ご利用者様の心身機能を踏まえて、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るように、日常生活の支援及び機能向上訓練を行う。また、ご家族様の身体的及び精神的介護負担の軽減（レスパイトケア）を図る。

3. 基本計画

1) 地域での緊急性の高いご利用者の対応強化

法人として地域福祉への貢献がより問われる時代です。緊急ショートステイの対応や虐待ケースの対応等柔軟に対応し、地域福祉に貢献します。また、地域の各関係機関との連携体制強化により、早期の社会復帰を図ります。

2) 医療性のある利用者にも対応

特別養護老人ホームにおける医療対応が求められる時代となり、ショートステイにおいても医療性の高いご利用者の受入が必須となります。医療提供体制及び、医療的ケアの充実を図り、医療ニーズの高い利用者のショートステイにも積極的に取り組みます。

3) レスパイトケアの充実

レスパイトとは、休息・息抜きなどを意味し、在宅ケアを担っている家族の疲労を癒やすためケアを一時的に代替し、リフレッシュを図ってもらうという意味ですが、ご利用者の充実した在宅生活の継続を図るため、レスパイトケアの充実を図ります。

4) 目標稼働率について

地域のニーズに応えるために、入院されている方の空きベッドを有効に利用させていただき、目標稼働率 100%とし、経営の安定を目指します。

IV. 平成25年度 デイサービスセンター 芦風荘 事業計画案 (通所介護事業・介護予防通所介護事業)

1. 利用定員 20人
2. 営業日 月曜日から土曜日
3. 基本方針

利用者様が、可能な限りその居宅において、有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の介護や機能訓練等を行うことにより、利用者様の社会的孤立化の解消及び心身機能の維持並びに家族の心身負担の軽減を図る。又、居宅介護支援事業所をはじめとする地域の他事業所への情報提供・情報交換により、利用者様の在宅生活を支える資源として、情報発信・広報活動を実施する。

4. 基本計画

1) 通所介護計画に基づいたサービスの提供

通所介護の一定期間ごとの評価、目標達成状況の確認を行い通所介護計画に反映させる。また、個々の利用者ニーズに対応した通所介護計画を作成し、サービスの質の向上に努める。

2) 業務体制の強化

チームケアの向上を目指し、荘内研修の他、積極的に外部研修に参加し、研修で得た知識は職員全員で共有し、質の高いケア、サービスが統一して提供できるようにする。

3) サービスの質の向上

事業所内で提供サービスの評価を確実にを行い、チームでのサービス提供に反映させる。利用者様の身体状態に応じた、短縮利用の取入れで利用機会を増やしたり、季節行事（花見、コスモス園見学などの外出企画）、参加しやすい行事（手芸・昼食やおやつ作り）を増やして、他事業所との差別化を図ります。利用者様及び家族の要望を集約・分析するとともに多様なニーズに対応していく。

4) スムーズな利用の実施

利用者様の利用希望から利用までをスピーディに行い、ストレスなく利用につながるよう支援する。

5) 働きやすい環境づくり

情報の共有・課題や問題点への速やかな解決を図るとともに職員を対象としたストレスケアに取り組み、長く、意欲的に働く喜びを実感できる職場を目指す。

6) 目標稼働率について

年間目標平均稼働率67%を達成するために、特徴のあるサービス提供に心掛け、周辺のデイサービスセンターとの差別化を図り、新規利用者の獲得を積極的に行います。

5. 年間行事計画

月	外出企画	昼食・おやつ作り	手芸
4月	花見	桜お茶会	張り絵、壁画
5月	バラ園（伊丹）	どら焼き	張り絵、壁画
6月	買い物ツアー	お好み焼き	張り絵、壁画、編み物
7月	買い物ツアー	焼きそば	張り絵、壁画、編み物
8月	伊丹スカイパーク	パフェ、かき氷	張り絵、壁画、編み物
9月	大阪国際空港	スイートポテト	張り絵、壁画、編み物
10月	バラ園		張り絵、壁画、編み物
11月	コスモス園		張り絵、壁画、編み物
12月	クリスマスツリー		張り絵、壁画
1月	買い物ツアー	どら焼き、お茶会	書初め、壁画
2月	買い物ツアー	鍋物	張り絵、壁画、編み物
3月	買い物ツアー	たこやき	張り絵、壁画、編み物

V. 平成25年度 ケアプランセンター 芦風荘 事業計画案 (居宅介護支援事業・介護予防支援事業)

1. 営業日 月曜日から金曜日
2. 営業時間 午前8時30分から午後5時30分まで
3. 基本方針

芦風荘居宅介護支援事業所は、法人理念及び介護理念に沿った運営を行うと共に、「自分らしく生き生きと」を念頭に利用者様ができる限りその居宅において、有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう、利用者様の意思及び人格を尊重した、公正中立な立場で適正な居宅サービス計画を策定出来るように、医療関係機関及び事業所との連携に努めます。また、法令を遵守し、適正な事業運営を実施致します。

4. 基本計画

1) 適正な居宅サービス計画の作成

利用者様の状況に合わせた迅速な対応を心がけ、事業所等の実施したサービスのモニタリングを通じて、計画の達成度を評価し、自立した生活が送れるように支援します。

2) 目標プラン件数

介護給付及び介護予防給付のいずれにおいても、法令による作成上限件数を目標とする。また、各種加算（入院時情報連携加算・退院退所加算・独居高齢加算・認知症加算）の算定を充実し、安定的な運営を行います。

3) 居宅サービス計画の質の確保

課題分析、サービス担当者会議、サービス実施状況の把握及び評価を適切に実施し、居宅サービス計画を見直すことにより質を確保する。

4) チームによる支援体制の強化

困難ケースの事例検討及び新規ケースの情報共有を確実にし、事業所全体で依頼ケースの支援に取り組むことで、利用者様やその家族に対して『支援チーム』により支えられているという安心感を提供する。

5) 地域に根ざした介護の実践

地域福祉の拠点として、介護保険制度及びサービス内容の周知・介護方法及び社会資源の利用についての周知を行うと共に地域包括支援センターを始め、各関係機関との連携を密に行う。